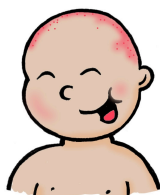


### 炎症



### 乳幼児脂漏性皮膚炎 (**Cradle Cap**)

#### 重要ポイント

- 脂漏性皮膚炎はかゆみが無く、赤ちゃんは気にしない
- 皮膚炎を刺激することがあるので、石鹸は使用しない
- 石鹸の代わりに無香料のバスオイルを使用する
- **aqueous** や **sorbolene** クリームなどの無添加保湿剤を使用する
- ふけを取り除くために週に何回か頭をオリーブ油でマッサージしても良い
- 新生児の脂漏性皮膚炎は二ヶ月頃にはきれいになる

#### 症状

脂漏性皮膚炎は良く見られる皮膚の炎症で、新生児の頭皮や皮膚のひだの部分に見られます。新生児（アトピー性）湿疹と異なり、脂漏性皮膚炎はかゆみを伴いません。ほとんどの場合赤ちゃんが二ヶ月になることには治まります。この点も二ヶ月頃に発症してその後継続する新生児湿疹とは異なります。よくある頭皮の軽い炎症で、別名を「ゆりかご帽子 (**Cradle Cap**) 」ともいいます。

#### 発症個所

新生児期に最も普通に見られるのは頭皮で、脂じみた、黄色っぽい白色の厚みのあるフケが頭髪や頭皮に付着しているのがはっきり見えます。顔の中央部や耳の後ろ、首の周りまで広がることもあります。おむつ部分やわきの下（特に下腹部の皮膚のひだ）にできることもあり、その場合はフケよりもやや赤みがかって見えます。下腹部が脂漏性皮膚炎になると、カンジダ症に感染することが少なくありません。

#### 治療法

軽症の脂漏性皮膚炎は添加物の無い保湿剤（たとえば **aqueous** クリームや **sorbolene** クリーム）またはオリーブ油で対処します。やや重症の時は薬剤師やかかりつけの医師が推薦するサリチル酸クリームやごく弱いコルチゾンクリームをそれらと併用することもあります。

おむつ部分の脂漏性皮膚炎の治療にはお風呂のお湯に添加物の無いバスオイルを加えたり、**aqueous** クリームや乳化剤軟膏を石鹸替わりに使うことがよくあります。カンジダ症に感染している時には、医師が弱いコルチゾンクリームをクリームと併用することを推薦することがあります。顔に炎症が生じた場合は、一日か二日弱いコルチゾンクリームを使い、好転したら定期的に保湿剤を使用することによって良い状態を保ちます。

## Japanese – Infantile Seborrhoeic Dermatitis/Cradle Cap

より詳しい情報の入手先：

母子健康看護師

薬剤師

かかりつけの医師

皮膚科専門医

© 2002, Department of Dermatology, St. Vincent's Hospital Melbourne, Victoria Parade, Fitzroy, Victoria 3065 Australia.